

## 〈解答〉

- ① 1 (1) たて穴住居 (2) 土偶 (漢字2字)  
2 (1) 前方後円墳 (2) 百済：イ 高句麗：ア (両解)  
3 ①：〔例〕都まで運んで納める ②：防人  
4 (1) 文化：国風文化 記号：ウ (両解)  
(2) 〔例〕娘を天皇のきさきにして、その子を次の天皇に立てた

配点 ①3 ①, 4(2)は各2点, 他は各1点 10点満点

## 〈解説〉

- ① 1(1) たて穴住居は、縄文時代から奈良時代にかけて一般に用いられた住居である。  
(2) 土偶は、縄文時代につくられた土製の人形で、女性をあらわすものが多い。
- 2(1) 古墳は、3世紀末から7世紀にかけてつくられた天皇や豪族の墓である。前方後円墳のほか、円墳、方墳などの形がある。大阪府堺市にある世界最大の面積をもつ前方後円墳である大仙〔大山〕古墳は、仁徳天皇の墓だといわれている。三重の堀をめぐらし、円筒埴輪や家、人、動物などの埴輪が多く出土した。
- (2) 5世紀には中国が南北朝の動乱期に入り、朝鮮半島でも高句麗、百済、新羅の三国の勢力争いが活発になっていた。好太王〔広開土王〕碑は、高句麗の好太王の功績をたたえた碑で、その中に391年から404年にかけて攻めてきた倭の軍を破ったことも書かれている。ウは新羅、エは伽耶〔任那〕で日本の勢力下にあったといわれる地域である。
- 3 ①人々は、口分田の面積に応じて租（1段につき稲2束2把）を負担した。このほかに一般の良民の成人男子には、特産物や布を都まで運んで納める調、庸などの税が課せられた。②防人は、九州北部の防衛にあたった兵士で、諸国の正丁（21～60歳の男子）から集められ、3年の交替制だった。
- 4(1) 国風文化は、平安時代の中ごろに発達した文化で、仮名文字がつくられ、紫式部の「源氏物語」や、清少納言の「枕草子」など、女性による文学作品が多く生まれた。ア、エは天平文化、イは飛鳥文化である。
- (2) 平安時代、藤原氏は天皇が幼いときには摂政に、成長すると関白という天皇を補佐する職について、政治の実権をにぎった。この政治を摂関政治という。摂関政治は、11世紀前半の藤原道長と子の頼通のころが全盛であった。